

2023 年度 事業報告書

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人おてらおやつクラブ

1. 事業の成果

(1) 経済的困窮者に対する食料品・日用品等物資の受入・配給事業

2023 年 3 月末での登録寺院数は 2,008 ヲ寺（前年+149 ヲ寺）、登録団体数は 816 団体（前年+129 団体）となりました。支援を受ける月間の子どもの数はのべ 36,185 人（前年+11,802 人）となり活動を継続しています。3 年間続いたコロナ禍も落ち着きを見せたが、社会影響からの物価高が止まらず、助けを求める声は一向に止む気配はありません。全ての声に応えることができないため、大掛かりなアプローチはせず、待ちの状態であったものの直接支援をしている家庭数が 11,115 世帯（前年 2,605 世帯増）となりました。

外食提供では、奈良交通が運営する 9 店舗にてミスタードーナツ 5400 個を毎月 75 世帯ずつおすそわけする取り組みや、バリューブックス社との連携で「ブックプレゼント」プロジェクトから 850 世帯に本を届けることができました。また J リーガーの浅川選手による「移動式こども食堂」を協働で開催し、特に支援が届かなかった奈良県下の自治体（橿原市、大淀町、河合町など）で登録家庭を招待し実施しました。

(2) ひとり親家庭等の経済的自立や子どもの貧困問題に関する啓発事業

2022 年度に引き続き奈良県田原本町・天理市の二つの自治体と連携し、ガバメントクラウドファンディングを実施し、合計 8,336,422 円のご寄付を賜りました。6 月にはインパクトレポート、12 月に直接支援家庭向け調査を実施しました。また、7 月には「てばなす」7 号を発行し、コロナ禍での支援状況や前年度収支などを報告しました。

(3) 学習支援や居場所づくり等子どもの発達・育成に関する事業

子どもたちが困りごとを抱えたまま孤立してしまわないために、困ったときに「助けて」と言える関係づくりを、奈良県田原本町で取り組みました。「学習支援」（29 回実施のべ 144 名）と「交流イベント」（4 回実施のべ 23 名）と「フリースペース」（37 回実施のべ 164 名）と「テラマエボード」（集まった声 311 件）4 つの活動により、子どもたちと大学生ボランティアをはじめとした地域の大人との関係を深めていきました。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
(1) 経済的困窮者に対する食料品・日用品等物資の受入・配給事業	全国の寺院を拠点に、経済的に困窮する家庭やその支援を行う団体等に寺院に供えられた食料品・日用品などを届ける。	随時	・事務所 ・全国寺院	・事務局 10 人 ・ボランティア 530 人 ・全国 2,008 寺院 ※寺院は不特定多数	約 36,200 人 ※月間のべ	39,925
(2) ひとり親家庭等の経済的自立や子どもの貧困問題に関する啓発事業	講演・勉強会・執筆などを行い、ひとり親家庭等の自立問題や子どもの貧困問題についての啓発を促す。	随時	・事務所 ・その他会場 ・オンライン	・事務局 5 人	不特定多数	11,819
(3) 学習支援や居場所づくり等子どもの発達・育成に関する事業	学習支援やイベント企画を通して、子どもの居場所づくりに取り組む。	随時	・事務所 ・その他会場	・事務局 6 人	不特定多数	4,179